



たもんじ 交流農園

2025年10月号
Vol.91



墨田のまちを、笑顔と青果が駆け抜ける—— 第9回 すみだ青果リレー 四日間開催！



墨田を代表する江戸東京野菜「寺島なす」を先端に取り付けたトーチを手に、人と人、地域と地域をつなぐ「すみだ青果リレー」が、9/27(土)・10/4(土)(東向島周辺エリア)、9/28(日)・10/5(日)(錦糸町周辺エリア)の四日間にわたり開催されました。総計 171 区画・46.34km のコースを、延べ 500 人以上の方々がトーチでつなぎ、街のあちこちに笑顔の輪を広げました。今年のテーマは「なす活しようぜ!」。各区間の受け渡しポイントでは「トーチキス」や「たすきリレー」が行われ、参加した方々はもちろん、沿道の皆さんも笑顔で声援を送ってくださいました。最終日の 10/5 には「すみだまつり・こどもまつり」にも参加し、錦糸公園を出発・ゴール地点として、多くの来場者の

前で“青果リレー”を披露しました。また、最終ゴールの錦糸公園では、山本亨墨田区長に今年もアンカーを務めていただき、四日間にわたる笑顔のリレーを締めくくっていただきました。開催にあたっては、墨田区をはじめ多くの皆さまにご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。(詳細は次頁)

竹香る秋の一日～笑顔つなぐ『お楽しみ竹あそび』

9/28(日)、たもんじ交流農園では、NPO 法人声とことばの力主催、親子あそび元気いっぱい協力の「お楽しみ竹あそび」が開かれ、子どもからシニアまで 41 名が参加しました。

長～い竹を使って、駄菓子水を流す“流し駄菓子”では子ども



たちは大はしゃぎ、穴が開いた竹の中をゴールを目指してビー玉を転がす「竹コロコロ」や、竹を割ってオリジナルの花瓶を作る「竹花瓶づくり」でも笑顔があふれ、完成した作品はお土産におうちに持ち帰ってました。小川さんによる「寺島なす紙芝居」ゆうこさん&安倍さんご夫妻の指導で踊る「寺島茄子之介音頭」も登場。牛久さんは「多世代が“つくる・遊ぶ・笑う”を体験できた」と振り返り、山本亨墨田区長も一緒に楽しむ姿が見られました。竹の香りと土の温もりに包まれた農園に、世代を超えた笑顔が広がった一日でした。



井戸水で育てた「たんたんタンポ」稲刈りを実施！



10/12(日)、たもんじ交流農園では「たんたんタンポ」の稲刈りが行われ、四か月前 6/1 に植えた稲を丁寧に刈り取りました。この田んぼは、井戸水を段状の水鉢を通してピオトープへと流す仕組みで育てられており、清らかな水で育まれた稲は、黄金色に実り、秋風にそよぐ姿がなんとも美しいものでした。去年は鳥たちに食べられてしまい収穫ゼロという悔しい経験をしましたが、今年は稲穂に紙袋をかぶせて守ったおかげで、無事に収穫の日を迎えることができました。刈った稲はV字に束ねて温室で乾燥中。脱穀・粳すりを経て、最終的にはご飯茶碗二～三杯分ほどの「たんたん米(もち米)」になる予定です。「たとえ一杯でも、自分たちの手で収穫した米の味は格別だね」と話す声が聞こえ、喜びと達成感に包まれたひとときとなりました。



墨田区北部 東向島 周辺コース

9/27(土) 10/4(土)

発祥の地・東向島周辺は、青果リレーオリジナルと称し、今年は八広方面までコースを拡大、初日の9/27(土)は鐘ヶ淵・いろは通り・八広エリアを中心に(緑色のコース)、翌週の10/4(土)はしらひげ・梅若・鳩の街・東向島駅前・大正通り方面(橙色のコース)を駆け抜けました。参加頂くお店やランナーの方も増えイベントを盛り上げて頂きました。当日の様子は、各URLをクリックするか、QRコードを読んで、3つの動画(錦糸町周辺は更に4つ)でお楽しみください。

当日の様子は、3つの動画でお楽しみください

10/4(日)
動画



<https://youtube.com/shorts/wWn74A4QoZ4?feature=share>



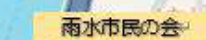
秀ノ山親方と皆川さん



秀ノ山部屋の皆さん



遊佐さんと岩田屋さん



雨水市民の会



10/4(日)動画

丸喜カメラマン撮影版

https://youtube.com/shorts/S9NbXMu_NM4?feature=share



ファーストラナ
ナーは、岸川副
区長とプロボク
サーの塩崎ゆう
とさん

9/27(土)
動画



花田さん、平田さんも参加



アンカーは
多聞寺のご住職



かえるのトンネルでカエルポーズ

青果リレー2025“オリジナル”（東向島周辺コース）に参加して

「こんにちは～！ 寺島なす青果リレーで～す」と町ゆく人に声をかけながら進むリレー隊。それに応える人々の笑顔がとてもステキ！ 立ち寄り施設でも笑顔で迎えられ、町が一体となっていたと感じました。いいですねえ！ また来年もこんないい思いをしたいです。(花田恵美代さん) 青果リレーに参加して、初めて走りました。地域の介護施設、児童館、地域プラザ、子供から105歳の墨田区最高齢のおじいちゃん。車椅子の通所のおばあちゃん。出会えて良かったです。(平田美恵子さん) 久しぶりに皆さんの元気ハツラツのお顔が見られて、嬉しかったです。元気をお裾分けいただきました。ありがとう！(かえるのトンネル/田村直巳さん)

応援にいったら、突然トーチを持たされ、岩田屋酒店から牛久工務店まで走りました！ 家族に話したら、日頃まったく地域活動に興味のない息子(大学生)がボツリ「俺もやりたかったかも」と。来年も応援にいきます！(遊佐知広さん)

今年も参加させていただきました！ 地域の皆さんと一緒に、寺島なすを通してたくさんの笑顔とふれあいがあった一日でした😊 今年も素敵な機会をありがとうございました💖 また来年も楽しみにしています！(皆川未来さん)



爽やかな秋晴れの10月5日。同じ職場の小山田さんに声を掛けて頂き「寺島なす」を聖火に見立てて街中を走るというイベントに参加しました。「すみだまつり・こどもまつり」の会場で盛大な見送りを受けた後は商店の前や交差点などで次々とトーチキス。小さなお子さんから施設のご利用者さん、地元のアイドルさん、そしてランナーを目にして「やってみよう!!」と飛び入り参加して下さった皆さんなど本当に多くの青果ランナーがトーチを繋ぎました。私はというとその青果ランナーの皆様に伴走し、100人程が参加されたトーチキスを近くで見守るという結構な大役!?を務めさせて頂きました！（実際に青果ランナーとしても一区間走らせて頂きました！）まさか自分がスカイツリーの真下を茄子と一緒に走るとは思っていませんでしたが、友人達に自慢できるとても素敵な体験となりました。

昨年北海道から転居してきて、墨田区での地域イベントに参加するのは今回が初めてですが、今後も寺島なすとてらたま協議会、そしてこの地域の発展を心より願っております。どうもありがとうございました。（宮田瑞穂さん）

P.S. わたしの「なす活」：青果リレーに関わって初めて「寺島なす」を知り、早速調理して（食べて）みました。「寺島なすと鶏肉のトマト煮」を作ってみたのですが、寺島なすは実がちょっと固めで煮崩れせず、食感が楽しめるなすでした。



東向島児童館分館からノウドひきふねまでを走りました。完走できるか不安でしたが無事完走できて嬉しかったです。風をきり、気持ちよく走れました。飲食店が並ぶ路地裏のくねくねした道も良かったです。もうゴール？走り足りないという感じでした。また来年も走りたいです。（渋谷理絵さん）

キラキラ会館から東向島児童館分館まで結構な距離にバテバテ。来年は余裕のトーチキスを目指して今から走り込みます！（すみだノート/及川博勝さん）



墨田区南部 錦糸町 周辺コース

9/28(日)10/5(日)

すみだまつり・こどもまつりの会場である錦糸公園ですみだ花体操の皆さんと出発式をして、押上・キラキラ橋商店街・曳舟・スカイツリー・すみだ公園・石原を経て、錦糸公園に戻り、アンカー山本亨区長がゴール！



うちの畑じまん第41回 12-1 小山厚子さん と鐘ヶ淵イーグルス中等部の仲間たち



畑づくりを、鐘ヶ淵イーグルス中学部のスタッフと保護者有志で始めて半年経ちました。(鐘ヶ淵イーグルス中学部はアド街ック天国の鐘ヶ淵特集でも11位に取り上げられた軟式野球チームです。昨年の夏に畑のテラスをお借りしてバーベキューをしました。) 事前に畑を準備していただいていたので、ほぼ思いつき・見よう見まねで植えた野菜はどれもよく育ち、順調に収穫を楽しんでいました。

と、初夏までは順調だったのですが、今年の夏は思いのほか野球の活動で大忙しの私たち。酷暑も相まって畑からは足が遠のきがちになり、荒れた畑心を痛めつつ、子どもたちの応援に奔走する夏となりました。その甲斐あって、野球は目標の全国大会に出場することができ、約1週間の遠征旅行を無事に終えることができました。(写真は琵琶湖での遠征の様子です)



“てらたま農園部から”

第46回～紅葉したコキアで手づくり簾の日～

10月になり、農園にもようやく秋が訪れ始めました。5日にはきゅうりやスイカを這わせていたネットを片付けました。夏中、可愛らしくぶら下がってたくさん収穫を楽しめたスイカでした。

気温はまだ高く、休憩タイムの水分補給に頂く、たわわに実ったみかんが美味しくてありがたいです。サカモトテラスの青く残っていたブドウも色付き、甘くなっていました。後半の時間は、ウッドデッキの手前に育っていたコキアが紅葉して干していたもので、簾(ほうき)づくりをしました。「農園で育ったものを、



食べて、生活で使える道具も作って、自給自足だね～」とみんなワイワイ言いながら、自然な枝ぶりを掃きやすい形に整えていくのは、難しくも楽しい作業です。季節ごとにいろいろな出来事があり、どうすれば改善できるかを考え、手足を動かし、やってみる。人間に備わった、自然とともに生きる力を思い出せるのが、農園での時間だなーと感じます。(ゆう)



シリーズ『江戸の食生活と野菜たち』～第8回～ 農園アドバイザー水口均



練馬大根といえば五代将軍であった綱吉の話が有名ですが、犬公方と呼ばれ年配の方たちにはあまり良い印象の無い将軍かと思えます。最近の歴史の教科書では「生類憐みの令」がもともと火事で焼け出され孤児となったものを町内でちゃんと育てなさいとい目的で作られた、ということで評価が見直されているようです。もともと体の弱かった綱吉が江戸嫌い(脚気；ビタミン不足が原因)で苦しんでいた時に占いで犬の方角で治療するように言われたのが練馬ということで、大根の栽培を命じ、その地での療養の結果治ったとされています。おそらく食事に野菜(大根の葉を含む)が多く入っていたものと思います。

何かにつけて大きいものとか早いものが好きな江戸っ子でしたが、ダイコンの中では唯一小ぶりの大根が亀戸大根です。亀戸の名からもわかるように亀戸地区(江東区)でつくられていた大根です。大きな特徴はその葉にあります。別名「お多福大根」と呼ばれたのはその葉の先端が下膨れ美人(今なら使えないか?)の形に似ていることから来ています。大きくすればスガはいりますし、おいしくありません。20cmくらいで葉ごと漬物にして食べるのが江戸っ子の食べ方でした。また葉の軸が白くきれいなのも好まれました。これは白軸が突然変異で出てきたものを選抜していったもので、栽培していると時々青軸のものが現れることからそのことがわかります。(第9回に続く)

11/3(月祝):パイオネスト・腐葉土づくり(9:30～12:30、東白鬚公園中、申し込み 03-3614-4467 サービスセンター)、
11/16(日):鐘ヶ淵町会ピザ焼き&BBQ大会、廃棄パレットのレイズドベットづくりWS(10:00～)、わいわいおしゃべりタイム(10:30～)
水口アドバイザーご指導日 11/9(日)・12/14(日) 各 10:00～15:00、農園部作業日:毎週日曜 8:30～



たもんじ交流農園便り
No.91 会 2025.10.28 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之



てらたま協議会
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)
▲セブン-イレブン記念財団(2018年・2020年に助成金を頂きました)

